

主要国の金融政策動向

国名	現行政策金利	最近の動き	インフレ目標 (前年比)			CPI上昇率(前年比%)		
			4月	5月	6月			
米国	0~0.25%	6月23日:金利据え置き。08年10月8日の米欧6中銀緊急同時利下げ以降3回利下げを実施(08年10月:0.5%ポイント+0.5%ポイント、同12月:0.75%-1.00%ポイント)。事実上のゼロ金利政策の継続を決定(for an extended period)。また、「信用プログラム」として実施してきた、MBS(最大1兆2,500億ドル)および政府機関債(最大1,750億ドル)の買い入れは、予定通り10年3月末で終了。TALF(タム物資産担保証券貸出制度)は新規発行のCMBSを担保とする貸出に限定。5月10日:FRB、ECB、BOE、日銀、カナダ中銀、スイス中銀が米ドルのスワップ協定を再締結。期間は11年1月まで。次回会合は8月10日。	1~2% (***)	2.2	2.0	1.1		
カナダ	0.75%	7月20日:0.25%の利上げ。6月1日の0.25%に続き、今年二度目の利上げ。前回の利下げ局面では、08年10月8日の米欧6中銀緊急同時利下げ以降6回、計2.75%ポイントの利下げを実施(08年10月:0.5%ポイント+0.25%ポイント、同12月:0.75%ポイント、09年1月:0.5%ポイント、同3月:0.5%ポイント、同4月:0.25%ポイント)。次回会合は9月8日。	1~3%レンジの中間点2%	1.8	1.4	1.0		
ユーロ圏	1.00%	7月8日:金利据え置き。1.00%はユーロ導入以来最低水準。また、限界ファシリティ金利は1.75%、預金ファシリティ金利は0.25%で据え置き。08年10月の米欧6中銀緊急同時利下げ以降4月まで7回、計3.25%ポイントの利下げを実施(08年10月:0.5%ポイント、同11月:0.5%ポイント、同12月:0.75%ポイント、09年1月:0.5%ポイント、同3月:0.5%ポイント、同4月:0.25%ポイント、同5月:0.25%ポイント)。5月10日:一部ユーロ加盟国の国債購入を開始。次回会合は8月5日。	2%近辺だが、それを超えない水準(HICP)	1.5	1.6	1.4		
英国	0.50%	7月8日:金利据え置き。08年10月の米欧6中銀緊急同時利下げ以降09年3月にかけて6回、計4.5%ポイントの利下げを実施(08年10月:0.5%ポイント、同11月:1.5%ポイント、同12月:1.0%ポイント、09年1月:0.5%ポイント、同2月:0.5%ポイント、同3月:0.5%ポイント)。金利水準はBOE創設以来の最低水準。09年3月に、3ヶ月間で750億ポンド規模の資産買い取りを開始。同5月に買い入れ規模を1,250億ポンドに増額。同8月に1,750億ポンドに増額。同11月に2,000億ポンドに増額。次回会合は8月4~5日。	2%(CPI、上下1%の許容範囲)	3.7	3.3	3.2		
日本	0.10%	7月15日:金利据え置き。08年10月末に7年7ヶ月ぶりの利下げ(0.2%ポイント)を実施し、同12月に追加利下げ(0.2%ポイント)。金利政策以外の施策としては、現在、民間銀行(国際統一基準行14行)を対象とする上限1兆円の劣後特約付貸付(劣後ローン)の引き受け、国債買い切りオペの増額(月額1.4兆円→1.8兆円)、国債・社債・CPなど全ての日銀適格担保を対象とした金利0.1%、期間3ヶ月の資金の供給(20兆円程度)などを決定、実施している。次回会合は8月9~10日。	0~2% (****)	-1.2	-0.9	-0.7		
中国	5.31%(*)	08年9月16日、10月9日、30日に各0.27%ポイント、11月27日に1.08%ポイント、12月23日に0.27%ポイント引き下げ。						
	17.0%(**)	08年9月25日に引き下げ(1.0%ポイント)。その後、10月15日に0.5%ポイント、12月5日に2.0%ポイント、12月25日に0.5%ポイント引き下げ。10年1月18日、2月25日に、銀行融資の抑制等を目的として各0.5%ポイント引き上げ。5月10日、さらに0.5%ポイント引き上げ。	3.0%	2.8	3.1	2.9		
韓国	2.25%	08年10月以降、6度の利下げを実施。①10月9日:5.25%→5.00%、②10月27日:5.00%→4.25%、③11月7日:4.25%→4.00%、④12月11日:4.00%→3.0%、⑤09年1月9日:3.0%→2.5%、⑥2月12日:2.5%→2.0%。10年7月9日、利上げを実施(2.0%→2.25%)。	3.0±1.0%(CPI、10~12年平均)	2.6	2.7	2.6		
タイ	1.50%	08年12月(1.0%ポイント)、09年1月(0.75%ポイント)、2月(0.5%ポイント)、4月(0.25%ポイント)と利下げを実施した後、10年7月(0.25%ポイント)に利上げを実施。	0.5%~3.0%(コア)	3.0	3.5	3.3		
フィリピン	4.00%	08年12月に利下げ(0.5%ポイント)に転じた後、09年1月(0.5%ポイント)、3月、4月、5月、7月(各0.25%ポイント)に利下げを実施。	4.5±1.0%(CPI)	4.4	4.3	3.9		
インド	5.75%	08年9月半ば以降、金融緩和を実施。レポレートに08年10月から09年4月にかけて累計で4.25%ポイント(9.0%→4.75%)、リバースレポレートを08年12月から09年4月にかけて同2.75%ポイント(6.0%→3.25%)引き下げ。また、預金準備率は、08年10月から09年1月にかけて累計で4.0%ポイント(9.0%→5.0%)、法定流動性比率は08年11月に1.0%ポイント(25%→24%)引き下げ。09年10月、金融緩和の解除に着手し、法定流動性比率を09年11月に1.0%ポイント引き上げ(24%→25%)。預金準備率は、10年2月13日に0.5%ポイント、27日に0.25%ポイント、4月20日に0.25%ポイント引き上げ(5.0%→5.5%→5.75%→6.0%)。政策金利については、10年3月19日、4月20日、7月2日、27日に引き上げ(レポレート:4.75%→5.0%→5.25%→5.5%→5.75%、リバースレポレート:3.25%→3.5%→3.75%→4.0%→4.5%)。今回の金融政策レビューは9月16日。	11年3月のWPI上昇率(前年同月比)を6.0%と予測(10年7月予測)。インフレ期待を4.0~4.5%に収めることにより、中期的目標としてインフレ率約3.0%を目指す。	11.2	10.2	10.6		
インドネシア	6.50%	08年12月に利下げ(0.25%ポイント)に転じた後、09年8月までの間に計9回(累計3.00%ポイント)の利下げを実施。	5.0±1.0%(10年末)	3.9	4.2	5.1		
トルコ	6.50%	08年11月から09年11月にかけて、計13回利下げ(16.75%→6.50%)。10年5月、危機対応からの出口戦略の一環として多めに供給してきたリラ流動性吸収のため、金利を固定(O/N借入金金利+50bps)し、取引総額を一定額とする1週間のレポ取引を開始。	6.5±2.0%	10.2	9.1	8.4		
ロシア	7.75%	08年11月、12月に、為替防衛のため、各1.0%ポイントの利上げを実施し、13.0%とした。09年4月以降は段階的に利下げを実施。4月、5月、6月、7月に、各0.5%ポイント、8月に0.25%ポイント、9月に2度(0.25%ポイント、0.5%ポイント)、10月、11月に各0.5%ポイント、12月、10年2月、3月、4月、6月に各0.25%ポイントの利下げを行い、7.75%とした。	10年末:9~10%、11年末:7~8%、12年末5~7%	6.0	6.0	5.8		
ポーランド	3.50%	08年11月に利下げ(6.00%→5.75%)。12月から09年6月にかけて計5回、2.25%ポイント利下げ。	2.5±1.0%	2.4	2.2	2.3		
ハンガリー	5.25%	08年10月22日に為替防衛のため3%ポイント引き上げ、11.5%。その後利下げに転じ、11月25日、12月9日、同23日、09年1月20日にそれぞれ0.5%ポイント、7月27日に1.0%ポイント、8月24日、9月28日、10月20日、11月23日にそれぞれ0.5%ポイント、12月21日、10年1月25日、2月22日、3月29日、4月26日にそれぞれ0.25%ポイント引き下げ、5.25%へ。	3.0±2.0% ただし、09年7月以降、VAT税率引き上げ分の影響を勘案し、09年12月までは各月CPI上昇率から3.7%ポイントを減算、10年6月までは各月CPI上昇率から4.1%ポイントを減算する。	5.7	5.1	5.3		
チェコ	0.75%	08年8月にコルナ高に対応し利下げ(3.75%→3.50%)。以後、11月、12月、09年2月、5月、8月、12月、10年5月と、計7回、2.75%ポイントの利下げを実施し、0.75%へ。	2.0±1.0%(10年~)	1.1	1.2	1.2		
ブラジル	10.75%	09年1月より、3月、4月、6月、7月に利下げを実施し8.75%へ。以降、10年4月28日に0.75%ポイント、6月9日に0.75%ポイント、7月21日に0.5%ポイントの利上げを実施し10.75%へ。	4.5±2.0%(10年12月)	5.3	5.2	4.8		
メキシコ	4.50%	09年1月以降7月まで7回、計3.75%ポイントの利下げを実施し、4.5%へ。	3.0%	4.3	3.9	3.7		

(注) 現行政策金利とは、原則として各国の短期政策目標金利。
 (*) 貸出基準金利(1年)、(**) 大手5行の預金準備率、(***) 一般的に心地よいと言われている水準
 (****) 日銀の各審議委員が中長期的な物価安定と理解する水準

このレポートは、財団法人国際金融情報センターが信頼できるとされる情報ソースから入手した情報・データをもとに作成したもので、財団法人国際金融情報センターは、本レポートに記載された情報の正確性・安全性を保障するものではなく、万が一、本レポートに記載された情報に基づいて会員の皆さまに何らかの不利をもたらすようなことがあっても一切の責任を負いません。本レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、投資その他何らかの行動を勧誘するものではありません。なお、当方の都合にて本レポートの全部または一部を予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。また、本レポートは著作権法により保護されており、本レポートの全部または一部を無断で複製・複製することを禁じます。